

	千葉大学 農学分野
学部等の教育研究 組織の名称	園芸学部（第1年次:200） 大学院園芸学研究科（M:105 D:18）
沿革	<p>明治42（1909）年 千葉県立園芸専門学校創立</p> <p>大正3（1914）年 千葉県立高等園芸学校に改称</p> <p>昭和4（1929）年 千葉高等園芸学校設置（国立移管）</p> <p>昭和19（1944）年 千葉農業専門学校に改称</p> <p>昭和24（1949）年 千葉大学園芸学部設置</p> <p>昭和44（1969）年 大学院園芸学研究科設置</p> <p>昭和63（1988）年 大学院自然科学研究科設置</p> <p>平成8（1996）年 大学院園芸学研究科を含む3研究科を大学院自然科学研究科に改組</p> <p>平成19（2007）年 大学院自然科学研究科を大学院園芸学研究科及び新設の大学院融合科学研究科を含む4研究科に改組</p>
設置目的等	<p>千葉大学園芸学部の母体である千葉県立園芸専門学校は、文化の向上と園芸の発達との要求に応え、園芸に関する高等の学術技芸を教授することを目的とし、全国唯一の園芸の高等教育機関として明治42年に設置された。</p> <p>千葉県立園芸専門学校は、大正3年に千葉県立高等園芸学校に改称後、昭和4年に県から文部省に移管され千葉高等園芸学校となり、昭和19年に千葉農業専門学校に改称された後、新制国立大学の発足時に、千葉大学園芸学部として承継された。</p> <p>園芸学部の設置に関しては、千葉大学設置認可申請において、「松戸の高等園芸学校として、全国的にその独自性が知られており、蔬菜・果樹・花卉を含む園芸と農芸化学と造園を柱とし、その伝統を生かして園芸学部とした」と述べられており、新制国立大学の農学系学部は25大学に置かれたが、園芸学部は千葉大学のみ設置された全国唯一の学部であった。</p> <p>昭和44年、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を修め、理論と応用の研究能力を養うことを目的に園芸学研究科（修士課程）が設置された。</p> <p>平成8年、専門性の高度化と専門間の相互交流拡大という観点を導入し、現代の急激に変動・発展する技術に適応するため、理学、工学</p>

	<p>及び園芸学の3研究科(修士課程)を区分制博士課程の自然科学研究科に改組した。</p> <p>平成19年、専門学術領域の高度化の著しい進展を背景に自然科学研究科を改組し、理学、工学、園芸学及び融合科学研究科の4研究科に再編した。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>千葉大学は、古くから日本の園芸産業の中心として発展してきた千葉県に設立され、園芸学に特化した専門的な教育研究を推進する我が国唯一の高等教育機関として、国内のみならず、アジアを中心とした海外における園芸関連産業の振興や人材育成において中核的な役割を果たすとともに、園芸とランドスケープ分野で世界的に高水準の教育と研究を目指して国際化及び社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「食と緑」をキーワードに、食と環境に関わる学識を深め、それらに関する社会の多様な課題に対し、広い視野に立って理論的かつ実践的に対応できる能力を持つ高度な専門人材育成の役割を果たすとともに、深い学識と学際的・総合的視野をもった高度な研究能力を有する先導的な研究人材育成の充実を目指す。 ○ 園芸学に関する学部から大学院までの教育体制の下で、プロジェクトワークやインターンシップを重視した取組成果を生かし、工学研究科の協力のもと国内外の機関と連携して実施している植物環境デザインプログラムを発展させ、国内のみならずアジアの拠点として園芸分野を牽引し、グローバルに活躍できる人材の育成を目的とした学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。 ○ 伝統的な育種技術と先進的な遺伝子工学の融合により世界レベルの業績があがった園芸植物の遺伝育種や植物工場に代表される施設園芸などの業績を基礎に、高付加価値植物の作出及び生産システムの開発などの先端的研究を展開し、地域社会の発展に寄与すると共に、我が国の園芸学の発展をリードする。建築空間から森林景観まで幅広いデザインが高く評価されたランドスケープ分野では、建築・デザイン分野や環境リモートセンシング分野との連携を進め、特色ある研究を推進する。 ○ 国及び千葉県をはじめとする全国の自治体の環境及び農業に関する審議会等、各種委員会への参画、被災自治体における復興支援活動などの実績を生かし、都市の緑化、持続可能なまちづくり、園芸産業・農業の振興に寄与する。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 学部及び大学院への社会人入学、園芸別科、委託職業訓練、柏の葉カレッジリンク・プログラムなど社会人受入れの実績を生かし、更に先端的な高度専門技術、国際性、経営的視点をもった人材育成のための教育プログラムを構築するとともに組織整備を行い、社会人の学び直しを推進し、我が国の園芸産業の発展に寄与する。
○ アジア諸国の交流協定校で活躍する卒業生・修了生のネットワークを基礎として結成した「アジア環境園芸学コンソーシアム」を軸として、これまで実施してきたダブルディグリープログラム等の英語プログラムを基盤とした共同育成事業をより拡大・充実させた多面的な連携教育プログラムを開始し、アジアにおける園芸産業の発展と人材の育成により一層寄与できる環境を整備する。 |
|--|---|